

令和8年度 大淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

Ⅰ「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

Ⅰ 全国学力・学習状況調査

※英語はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（CBT=Computer Based Testing）で実施。

学年		生徒数 (人)	平均正答率 (%)		平均無解答率 (%)		平均IRTスコア
実施月日			国語	数学	国語	数学	(参考)英語3技能
3 年	学校	117	69	66	2.8	4.3	533
	大阪市	-	60	55	5.4	11.4	499
4月23日	全国	-	63.9	57.0	4.9	10.4	499

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

調査結果とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について

成果と課題

<全国学力・学習状況調査>

（国語）全国と比較して、平均正答率は、5.1ポイント上回った。設問ごとで比較すると、「助動詞の働きについて理解しているかどうか」、「文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えることができるかどうか」を問う問題など、全国平均を15問中12問で上回った。その中でも、「文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができるかどうか」、「目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるかどうか」を問う問題など、3問が全国平均を10ポイント以上上回った。

（数学）全国と比較して、平均正答率は、9.0ポイント上回った。設問ごとで比較すると、「問題場面における考察の対象を明確に捉えているかどうか」、「数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうか」を問う問題など、全国平均を16問中15問で上回った。その中でも、「起こり得る場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求めることができるかどうか」、「筋道を立てて考え、証明することができるかどうか」を問う問題など、5問が全国平均を10ポイント以上上回った。

（英語）全国と比較して、平均I R Tスコアで33ポイント上回った。設問ごとで比較すると、3技能（聞くこと、読むこと、書くこと）では「日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができるかどうか」、「音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうか」を問う問題など、全国平均を16問中13問で上回った。その中でも、「社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうか」、「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうか」を問う問題など、6問が全国平均を10ポイント以上上回った。話すことでは、全7問で全国平均を上回った。その中でも、「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうか」、「音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうか」を問う問題で、全国平均を10ポイント以上上回った。

今後に向けて

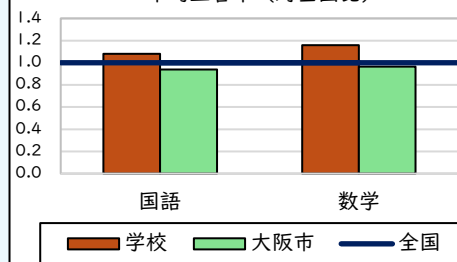
今年度は、授業展開の中で、ペアワーク、グループワークを取り入れ、学習者用端末を使用して、他の生徒と意見交換する場面を多く設定することに取り組んでいる。インプットした知識・技能をペアワークなどを通じて、対話の中でアウトプットする場面をつくり、理解を深めることで、さらに全体の理解度あげていく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（国語・数学）

平均正答率（％）

	国語	数学
学校	69	66
大阪市	60	55
全国	63.9	57.0

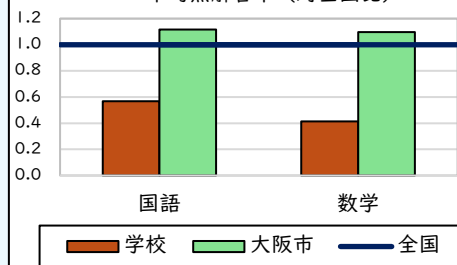
平均正答率（対全国比）



平均無解答率（％）

	国語	数学
学校	2.8	4.3
大阪市	5.4	11.4
全国	4.9	10.4

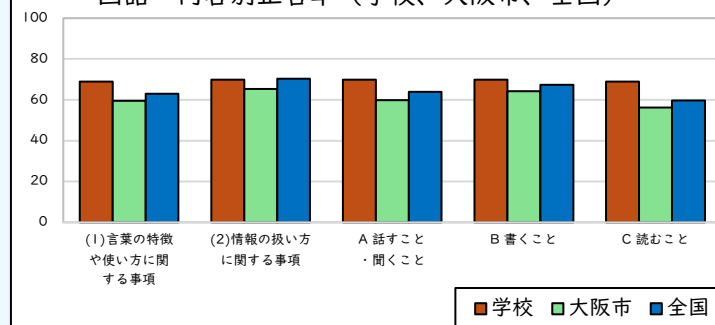
平均無解答率（対全国比）



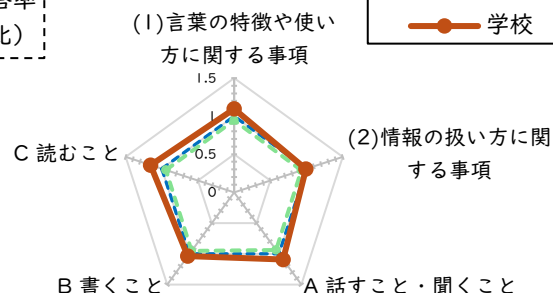
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	5	69.0	59.5	63.0
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	69.8	65.3	70.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	69.8	59.9	63.9
B 書くこと	3	69.8	64.2	67.4
C 読むこと	3	69.0	56.3	59.7

国語 内容別正答率（学校、大阪市、全国）



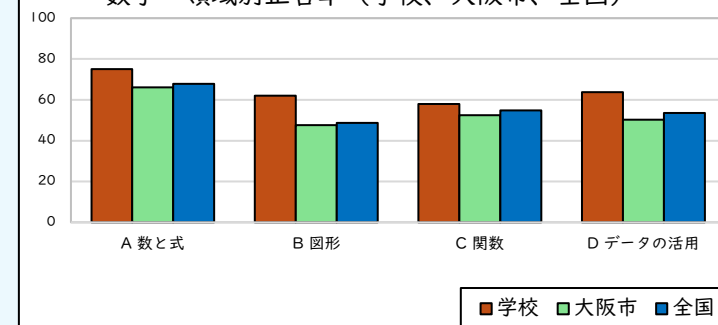
国語
内容別正答率
（対全国比）



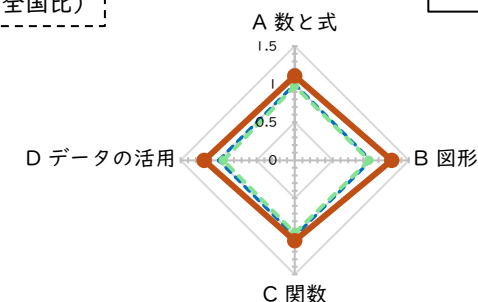
【数学】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	75.1	66.1	67.8
B 図形	4	62.0	47.6	48.7
C 関数	3	58.0	52.5	54.8
D データの活用	4	63.7	50.2	53.5

数学 領域別正答率（学校、大阪市、全国）



数学
領域別正答率
（対全国比）



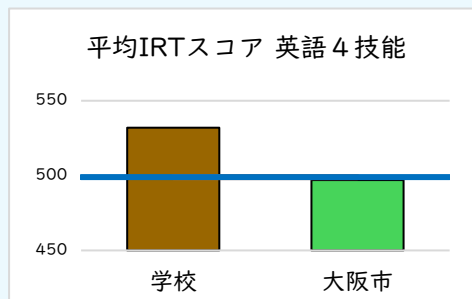
令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（英語）

英語 平均IRTスコア

学校	532 (533)
大阪市	497 (499)
全国	499 (499)

※ 4技能の平均IRTスコアです

※ () 内は3技能の平均IRTスコアです



【IRT(Item Response Theory：項目反応理論）とは】

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

【IRTスコアとは】

IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

導入する年（中学校英語は令和8年度）の全国平均を基準値とし、経年比較が可能な形で算出します。

【IRTバンドとは】

IRTスコアを1～5の5段階に区切ったものです。3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなります。

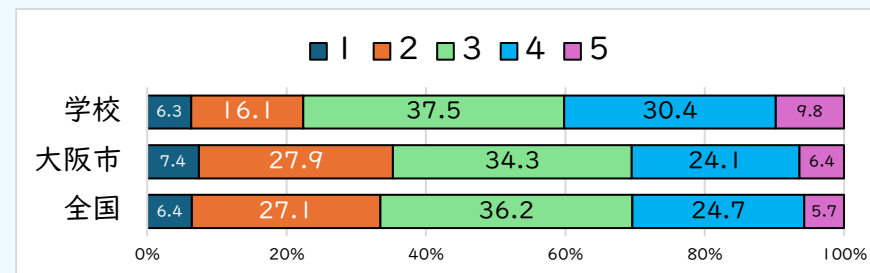
※IRTスコア・IRTバンドは、難易度の高い問題にしていると高めに、難易度の低い問題に誤答していると低めに算出されます。

IRTバンド分布比較（4技能）

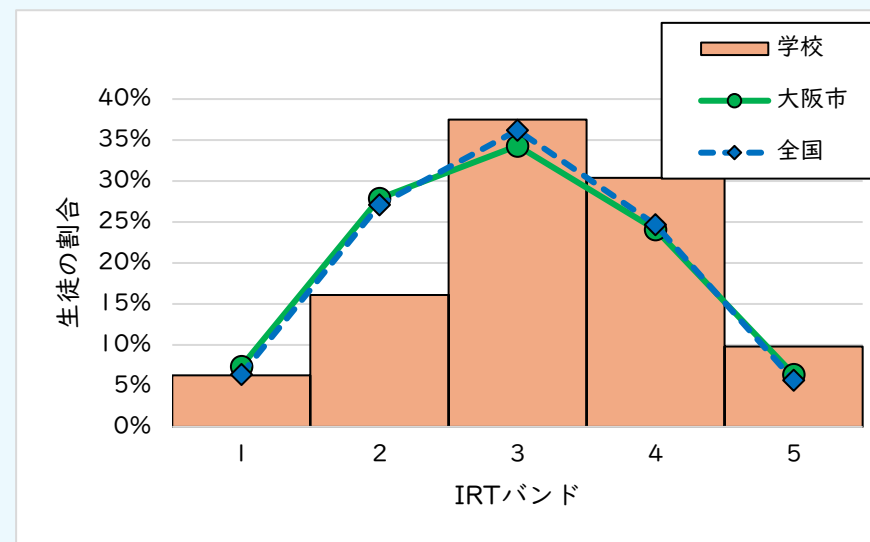
	1	2	3	4	5
学校	6.3	16.1	37.5	30.4	9.8
大阪市	7.4	27.9	34.3	24.1	6.4
全国	6.4	27.1	36.2	24.7	5.7

※ 4技能のIRTバンド分布です

IRTバンド分布比較（4技能）



IRTバンド分布グラフ（4技能）



生徒質問調査より

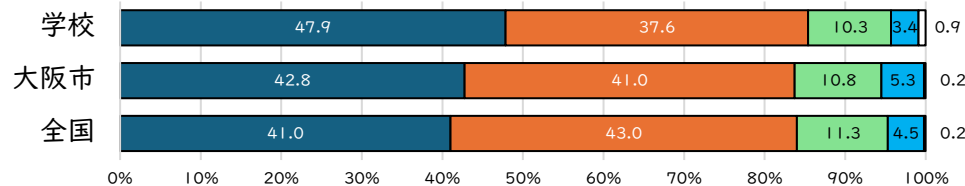
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

(8)

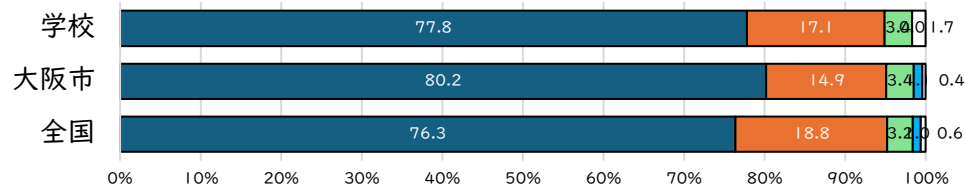
自分には、よいところがあると思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(12)

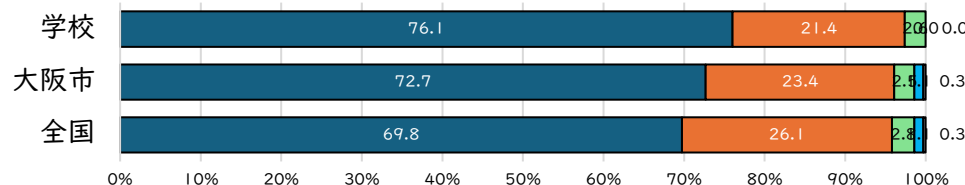
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(14)

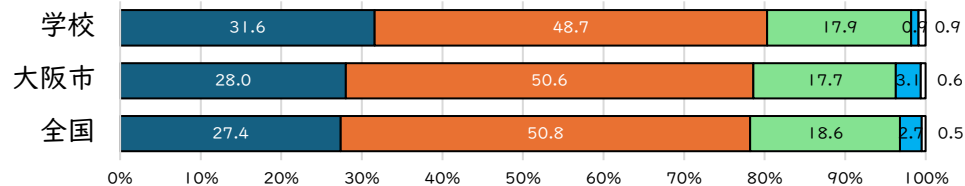
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(22)

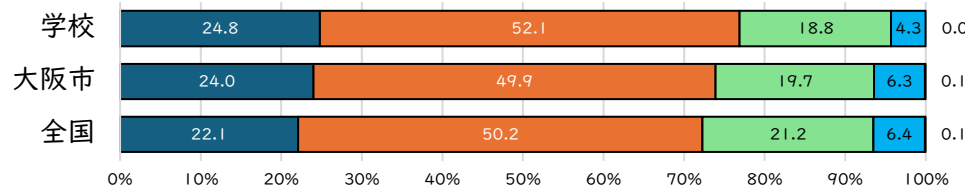
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



1 できている
2 どちらかといえば、できている
3 どちらかといえば、できていない
4 できていない

(33)

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

学校質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

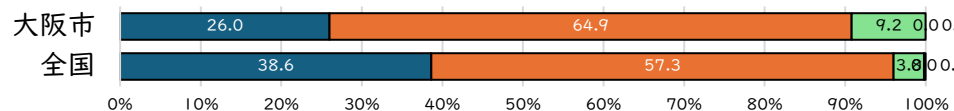
質問番号

質問事項

(17)

生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

【学校の回答】 1 よくしている

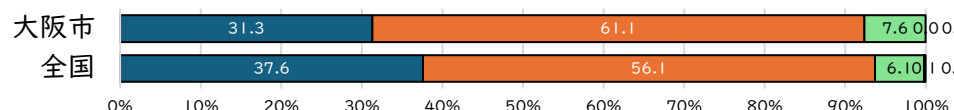


1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(18)

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

【学校の回答】 1 よくしている

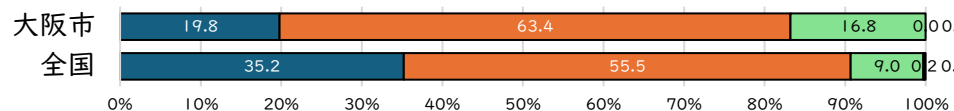


1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(20)

今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いですか

【学校の回答】 1 そう思う

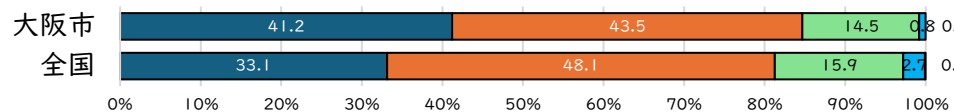


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(24)

生徒にとって、学校施設全体として、生徒が学びや生活がしやすく、居心地のよい建物だと思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

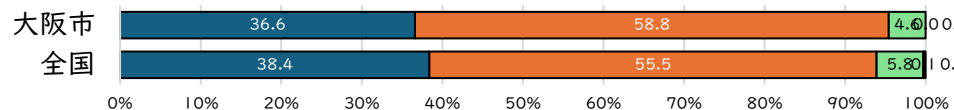


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(47)

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるような指導を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った



1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった